

令和4年第9回木島平村教育委員会定例会会議録

1 開催日時 令和4年9月28日(水) 15:25～16:40

2 場 所 木島平村役場 議員控室

3 出 席 教 育 長 小林 弘
教育長職務代理者 角田 道夫
委 員 月岡 英彦
委 員 佐藤小百合
委 員 芳川 文子

4 出席した事務局職員

子育て支援課長 島崎かおり
生涯学習課長 高木 良男
子育て支援係長 武田 幸一
生涯学習係長 湯本 邦浩

1 開 会 午後3時25分

2 前回会議録朗読承認（署名）

令和4年8月24日開催の令和4年第8回木島平村教育委員会定例会会議録を島崎子育て支援課長が朗読し、出席委員全員が内容を確認のうえ、全員が承認し署名した。

3 教育長報告

(1) 9月6日開催の保育園定例会から、園長および園長補佐に指示した事項。

- 主任保育士研修の復命書から、保育園で起こりやすい事故について「寝ているとき」「食べているとき」「水遊びのとき」など。やまほいくの散歩時に注意してほしいこととして、クマ・ヤマカガシ・マダニなど、「下見は必ず行うこと」。
- 全国保育協議会会報から、保育士がマスクをつけていると子どもたちは保育士の表情を察しにくく、言葉の明瞭度やコミュニケーションの質にも影響する。コミュニケーションのあり方について考えることが必要であること他、指示した事項について説明した。

(2) 9月13日開催の村校長園長会時に、小中学校長保育園長等に指示した事項。

- 「ウィズコロナ」の自覚を持つての生活。「ウィズリスク」ということも意識をしなければならぬ。
- 官公学生服株式会社の研究所が、全国の公立中学校を対象にした調査結果から「LGBTQ」の生徒への配慮について、半数以上の学校が制服のデザインの見直しや変更する方向で動いている。本村中学校の制服検討委員会も、本年度にまとまらなくてもあまり急ぎすぎないように、着実に実施してほしい。中学校生徒会長もLGBTQについて意識をしながら変更をしていきたいという方針を持ち、生徒たちも積極的に取り組んでいる。
- 2022年度全国学力テストの結果分析から、新聞を読む子は正答率が高い。7月29日の信毎記事から、新聞を「毎日読む」と「読まない」人で平均正答率の差は10点以上。スマホの非保持率は全国で、小学6年生が21%、中学3年生が5%。現在の子どもたちの家庭環境や社会環境でどう新聞を読ませたらいいか。
- 県立こころの医療センター駒ヶ根の足立副センター長の8月4日の信毎記事から、子どものスマホやゲームの使用方法について周囲が気をつけることは、「取り上げたり禁止することはやめる」「コントロールして向き合っていくことを学ぶ」「時間だけのルールは破られやすい。子どもがやらないときは親もやらない」など。他の活動も増やすことを考えてほしい。
- 愛知県の中村時広知事（R4.6自治体通信から）
5つの意識改革「どうすればできるか」「自治体にも倒産はありえる」「一緒にやる」「失敗を積極的に明らかにする」「情報の活用」、自ら考え行動する職員への脱皮。県

庁に営業本部を設置。この中から、学校現場で何かヒントがあるのではないか。変化を恐れずに挑戦し、自ら考えて行動すること。新しい学習指導要領とも関係してくる。学校現場の指導で、子どもたちの突飛もないことでも豊かな発想を育む教育も大事にしてほしい。

- 文化庁では文化系部活も地域移行とし、運動部改革と足並みをそろえたいという考えを打ち出しているが、地域にとっては高いハードルである。他、指示した事項について報告した。

(3) 7月13日の代議員会と県教育委員会との教育行政懇談会で、GIGA スクール推進上の諸問題について次の4点について提案した。

- ・ ICT 機器を活用した教師の指導力の向上と研修の充実
- ・ タブレット端末の更新時の費用負担およびデジタル教材等の財政的な支援について
- ・ ICT 支援員の増員と補助金の拡充
- ・ 情報リテラシー教育の推進と研修会の確保
- ・ ICT の機器を使った授業づくりまたは外へ出て子どもたちの五感をどう刺激させるか、大事なところを忘れないように教育をしていかなければならないこと他について報告した。

4 協議

(1) 行事等の共催後援の承認について

- ①令和4年度長野県中学校総合体育大会の共催について

(2) 令和4年度木島平村指定文化財の指定について

- ①根塚遺跡出土の三韓土器（有形文化財・美術工芸品）
- ②御魂山の監的塚（史跡）

小林教育長

協議事項であります。(1) 行事等の共催後援の承認について ①番、令和4年度長野県中学校総合体育大会の共催について説明をお願いいたします。

島崎課長

それでは、資料の1になります。長野県中学校体育連盟から依頼ということで共催の申請書ということで届いております。

○申請内容について説明

行事の名称 第61回長野県中学校総合体育大会冬季大会スキー競技会

日時 令和5年1月16日(月)から19日(木)まで
会場 アルペン：志賀高原、西館山ジャイアントスキー場
クロスカントリー：木島平クロスカントリー競技場
ジャンプ：木島平ジャンプ競技場
参加人数 250名
共催の具体的な内容について

小林教育長

それでは協議をお願いいたします。いま、課長から説明がありましたように、名義の使用のみではなくて、内容的なものがあるということですが、「共同主催者としての責任の一部を分担する」このところはどうでしょうか。

高木課長

これは、長野県スキー大会週間として年が明けて1月16日から行われる中で、中体連の大会、高体連の大会を実施するものです。県の中学校体育連盟が長野県スキー連盟に委託をし、長野県スキー連盟が開催地の地元スキークラブに委託をするという内容であります。当然先生方も出てきていただいて、表彰式の段取りでありますとか、抽選ですとか、そういったことは中体連の方でやっていただくということで、丸投げではないということになります。

小林教育長

共催についていかがでしょうか。よろしいでしょうか。

委員全員

(承認)

小林教育長

ありがとうございます。

小林教育長

(2)になります。令和4年度木島平村の指定文化財の指定についてということで、根塚遺跡出土の三韓土器と御魂山の監的塚について高木課長、説明をお願いいたします。

高木課長

いま、お手元に資料を配布させていただいております。指定文化財の

候補調査票というものであります。今回お願いしたいのは2件であります。村の指定文化財は今現在50件該当しております、今回プラス2件トータル52件目指しているものがございます。今回は根塚遺跡出土の三韓土器、それと御魂山の監的塚の2件であります。調書の方に詳しい内容を書いておりますが、概略説明させていただきますと、根塚の出土品というのは1996年から2000年にかけて根塚の発掘をいたしました。そこで主に発生したものについては、渦巻き文様鉄剣であります。その他の出土品の中で再整備を行っていたところ、なぜ再整備をしているかという、国の指定文化財を目指しているという状況の中で再整備をかけている状況であります。その中で、今回の三韓土器が発見されたというものです。この三韓土器の特徴というのはここに記載のとおりですので、私の方からは細かくは説明いたしません、これまで九州の方で主に出ていたものが、東日本で初めて出てきたということで、当時、今の歴史上で邪馬台国は九州からあるいは大阪南畿の方、場所はまだ確定してないのですが、そういうふうに言われておりましたが、実は東日本にもそれ相応の文明があったのではないかとということが裏付けられてくるということであり、鑑定をしていただきました福岡大学名誉教授の武末先生によりますと、朝鮮半島から日本海を経由して海村と言われるものが多く点在していたので、そのルートの可能性もあるということであり、最近、「日高見国」これが東日本に存在したという話もまことしやかにささやかれておりますので、実は当時、朝鮮半島の人々が北海道・青森の方から入られて、南下してきたという可能性も考えられますし、かなりのロマンがあるお話であると。このロマンがないと考古学は成り立たないということになりますのでその点をご容赦いただければと思います。それと2点目の監的塚についてであります。山口菊十郎先生が当時この御魂山を命名されて、「御魂山」という山になっております。ちょうど桜のちよっと行った奥にこの監的塚が発見されて信濃毎日新聞でも報道されておりましたが、おそらく県内有数の監的塚ということになります。往郷村の当時の軍人会の皆さんの練習場になります。御魂山、忠魂碑というのは当然その御魂山の神社にありますけれども、上木島の場合は農村交流館上段にあります樹木園、これが忠魂碑のある場所でした。ところが、遺族会の方で忠魂碑をグラウンドの東側に移設しましたので、今樹木園自体は、総務課が財産管理をしていて、鬱蒼とした森になっているという状況ではありますが、それが上木島の忠魂碑、北部については、ちょうど向こうの稲荷に忠魂碑がありますけれども、そこもおそらく穂高の軍人会の忠魂碑で主に三つあったということであり、この監

的壕は往郷村の監的壕というような命名もできるんですが、山口先生が御魂山という山の名前をせっかくつけていただいたので、教育委員会としては「御魂山の監的壕」という命名をして、村の指定文化財の認定をお願いしたという経過でございます。認定をいただいた後に指定をしましたという告知をさせていただいて、所有者の方へ通知と指定書を行うという段取りになりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。説明は以上であります。

小林教育長

ありがとうございます。繰り返しをいたしませんかそういうことであります。この2点についての文化財の指定についての協議でありますか、いかがでしょうか？よろしいでしょうか。

角田教育長
職務代理者

文化財指定という専門家の皆さんのかなり学術性の高い調査の結果で規定されるものと思ひますけれども、監的壕については見るからに埋もれている感じですが何らかの整理というのを村としても一定程度される予定ですか。

高木課長

少し言葉足らずでしたが、いきなり教育委員会の場で指定ということではなくて、今回の場合7月29日に村文化財審議会というものがあり、4名の先生方がいらっしゃるんですが、一旦教育委員会からそちらに諮問をさせていただいて、文化財審議会の方で「相応」ということになっております。今後の指定後の整備に向けては、今現在、実施計画上は何も予算措置はしていませんが、当然多くの方がこれからいらっしゃるということを前提に考えれば何らかの整理をしながら、アクセスしやすい通路であるとか、そういったものも当然考えていかなければいけないのかなというふうに思ひます。

角田教育長
職務代理者

手続き上はもう審議会からの答申を得て、今日協議しているのは、村指定文化財として教育委員会でそのとおりでよいかという決定することですね。

高木課長

そうですお願ひします。

小林教育長	指定ということでいかがでしょうか。
委員全員	(承認)
小林教育長	ありがとうございます。賛成を得ましたので、そういう方向でお願いを致します
高木課長	関係していますが、今お手元にA4の資料お配りをさせていただいております。千葉県佐倉市にあります、国立歴史民俗博物館に根塚の渦巻き文様鉄剣のレプリカが2年前から展示をされているということでもあります。今回、国立博物館の方で改めて「加耶」というキーワードを表に出しながら、10月4日から12月11日まで展示を広く周知をしていくという内容であります。当然この中に、木島平村の鉄剣もあるということですので。そして今回の三韓土器と鉄剣のレプリカは、年を明けて1月から福岡県の大宰府にあります九州国立博物館で1月からおおむね3月まで展示されるということでもあります。その後、春4月以降、今度は大韓民国の国立中央博物館にその二点とも行きます。国際的な交流がどんどん深まっていけばいいなという考えであります。以上です。ありがとうございます。
小林教育長	資料の1ページのところです、調査者に武末純一福岡大学の名誉教授というような先生のお名前がありますが、実際に最終的な判断というところで、やはり木島平から出たものは三韓土器、この時代のものに間違いなしというようなことがありまして、実際には木島平に見えてそして現物を見て、さらには昨年度の12月にオンラインも行いました。そんなようなことで今、木島平がちょっと注目されているということでもあります。

5 報 告

(1) 行事等の共催後援の承認について

島崎子育て支援課長が、令和4年度長野県高等学校新人体育大会アーチェリー競技大会の共催について、教育長専決により後援承諾したことを報告した。

(2) 保育園及び小中学校の状況

- ・島崎子育て支援課長が、保育園及び小中学校の状況を報告した。

(3) その他

- ・島崎子育て支援課長が、今後の学校給食費について給食費検討会議で検討していることを説明した。
- ・武田子育て支援係長が、中学校の部活動の状況と今後の部活動地域移行について説明した。

6 その他

(1) 当面の日程（諸行事・会議等）

- ・島崎子育て支援課長が、当面の諸行事・会議等の説明をした。
また、小林教育長退任式、関教育長就任式、木島平村教育委員会第2回臨時会、次回第10回木島平村教育委員会定例会の日程について説明した。
- ・第65回長野県市町村教育委員会研修総会を10月21日（金）、役場会議室においてオンラインで開催することを説明した。
- ・令和4年度6団体親善球技大会（マレットゴルフ）の中止について報告した。

7 閉 会 午後4時40分

小林教育長が閉会を宣言した。